

(2/24 一部改定)

スポーツクライミング 第6期 JMSCA パリオリンピック強化選手選考について

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会 (JMSCA)

1. 権限の所在

JMSCA オリンピック強化選手を選考する最終的な権限は公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会（以下「当協会」という。）にある。選手の選考は、以下の基準に基づき、強化委員会が推薦し、常務理事会で承認することによって決定する。

2. パリ 2024 オリンピックにおける強化目標及び選考方針

- (1) パリ 2024 オリンピック競技大会において金メダルを含む複数メダルを獲得することを目的とし、国際競技大会で決勝進出などの経験を持つ選手を選考する。
- (2) 国際競技大会において B&L 種目またはスピード種目で世界のトップ選手達と戦える競技力を持つ選手を世界ランキング上位者または国内外の大会の上位者から選考する。

3. 選手の義務

- (1) 法令、当協会及び関係団体が定める規程やルールを遵守すること。
- (2) 強化委員会が JMSCA パリオリンピック強化選手に対し指定した大会・合宿・練習会・研修会等に可能な限り参加すること。
- (3) その他、強化選手としての自覚を持ち、強化委員会の指示等に応ずること。

4. B&L 種目大会等の派遣選手について

- (1) B&L 種目（ボルダーとリードの複合種目）の大会とは、IFSC クライミング世界選手権 2023（2023年8月・スイス）、第19回アジア競技大会（2022/杭州）（2023年10月・中国）、アジア予選（2023年11月・場所未定）などの大会を指す。

(2) 派遣選手の選考

- ① 第19回アジア競技大会（2022/杭州）への派遣は、第6期パリオリンピック強化選手のランク上位選手より順に参加人数を満たすまで選手を派遣する。また次選の選手1名を補欠選手とする。さらに、本大会に参加者できる年齢は17歳以上（2006年12月31日までに生まれた）である。

参考：第19回アジア競技大会（2022/杭州）の派遣選手数は B&L 種目男女2名ずつ、スピード種目男女1名ずつ

- ② IFSC クライミング世界選手権 2023 の派遣について

参考：IFSC クライミング世界選手権 2023 の派遣者数はボルダー、リード、スピード種目各5名ずつ

【ボルダー・リード種目について】

- i. S ランクの選手を最優先で派遣する
- ii. B&L ジャパンカップ 2023 で2位の選手を i) に次ぎ派遣する
- iii. 2023 年 7 月 10 日時点で、ボルダー・リードワールドカップの両種目へ最低 1 大会ずつ参加した選手の中からワールドカップ順位における B&L ポイント※1 の上位選手から参加人数を満たすまでの選手を ii) に次ぎ派遣する
※1 IFSC ルールに定めた B&L ワールドランキングとは異なり、ボルダーワールドカップとリードワールドカップのそれぞれの最上位の順位 1 大会ずつの順位ポイント(別紙参照)を加算
- iv. iii) までで参加人数を満たさない場合は、A ランクから B ランクまでの選手をランク順に選出する。
- v. また単種目の参加は IFSC 枠を持っている男子ボルダーのみとする。ただし、IFSC 枠保持者以外の選手が参加できるようになった場合は、IFSC ボルダーワールドカップの年間ランキング上位者から優先的に選出する。

【スピード種目について】

- i. S ランクから B ランクまでの選手をランク順に参加枠を満たすまで派遣する
 - ii. i) で参加枠が満たされない場合は個人最高記録の順に参加枠を満たすまで派遣する
 - iii. 個人最高記録は、IFSC または JMSCA が主催・共催・公認するスピード種目の大会を対象とする。また対象となる期間は 2023 年 3 月 1 日から 7 月 10 日までの間とする。
- ③ アジア予選への派遣は現時点では大会要項が未定である。これら詳細事項の決定後に必要である場合は本選考基準を再度改定し公表する。

5. B&L ポイントについて

- (1) 「ボルダージャパンカップ」「リードジャパンカップ」の順位に準じた順位ポイントを加算し、その B&L ポイントを用いて決定する。なお、両大会へ出場した選手のみに順位ポイントは与えられる。

$\text{B\&L ポイント} = \text{「ボルダーポイント」} + \text{「リードポイント」}$

※順位ポイントは参考資料 参照

※同順位の場合は、平均値をポイントとする。

例) 3 位が 2 名の場合は、690(3 位) + 610(4 位) / 2 名で 650 ポイントとなる。

- (2) 複合ポイントが同ポイントの場合は、各選手のボルダー、リードの両種目の順位ポイントを比べ、最高順位ポイントの高い選手を上位とする。

【例】同ポイントが 2 名のこの場合では、選手 A が順位は上となる

選手	ボルダー	リード	B&L ポイント
選手 A	1000pt (1 位)	300pt (12 位)	1300pt
選手 B	610pt (4 位)	690pt (3 位)	1300pt

(3) でも順位が決定しない場合は、B&L ジャパンカップの順位の高い選手を上位とする。

6. 第6期 JMSCA パリオリンピック強化選手について

- (1) 第6期 JMSCA パリオリンピック強化選手は2023年4月1日から2023年11月30日までの期間を対象とする。
- (2) 第6期 JMSCA パリオリンピック強化選手については、当協会登録選手規程に従いA登録をしている選手の中から、以下の基準により選出し、各種目において基準となる実績によって以下のようにランク分けをおこなう。

【B&L 種目】

S ランクから B ランクの対象選手の総数は男女それぞれ最低 5 名とし、仮に対象選手数の総数が 4 名以下となった場合は、B&L ジャパンカップの 4 位以下の選手から順に B ランクへ繰り上げを行い男女 5 名ずつとする

ランク	基準となる実績	選手への特典
S ランク	1) B&L ジャパンカップ 2023 の <u>1 位</u> 2) ボルダール及びリードジャパンカップ 2023 の B&L ポイント <u>1 位</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 19 回アジア競技大会 (2022/杭州) へ最優先で派遣する ※2 ・ IFSC クライミング世界選手権 2023 のボルダール、リードの両種目へ最優先で派遣する ・ ボルダールワールドカップ及びリードワールドカップのそれぞれへ最大 <u>2 大会ずつ</u>最優先で派遣する ※3
A ランク	3) B&L ジャパンカップ 2023 の <u>2 位</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 19 回アジア競技大会 (2022/杭州) へ 1)2) に次ぎ派遣する ・ IFSC クライミング世界選手権 2023 のボルダール、リードの両種目へ 1)2) に次ぎ派遣する ・ ボルダールワールドカップ及びリードワールドカップのそれぞれへ最大 <u>2 大会ずつ</u> 1)2) に次ぎ派遣する
	4) ボルダール及びリードジャパンカップ 2023 の B&L ポイント <u>2 位</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 19 回アジア競技大会 (2022/杭州) へ 3) に次ぎ派遣する ・ ボルダールワールドカップ及びリードワールドカップのそれぞれへ最大 <u>1 大会ずつ</u> 3) に次ぎ派遣する
B ランク	5) B&L ジャパンカップ 2023 の <u>3 位</u> 6) ボルダール及びリードジャパンカップ 2023 の B&L ポイント <u>3 位</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 19 回アジア競技大会 (2022/杭州) へ 4) に次ぎ派遣する ※4 ・ ボルダールワールドカップ及びリー

		ドワールドカップのそれぞれへ最大 1大会ずつ4)に次ぎ5)6)の順で派遣 する
--	--	---

- ※3 複数の選手がいた場合には、ワールドカップ順位で B&L ポイントを算出し、ポイント上位の選手から順に大会派遣選手を選出する。ただし、参加大会の申込期限までの大会成績を対象とする。
- ※4 第6期 JMSCA パリオリンピック強化選手からの派遣は1大会1種目につき男女最大4名ずつとする。また対象大会は5月以降の IFSC クライミングワールドカップとする。
- ※5 6) で参加枠を満たさない場合は、B&L ジャパンカップの4位以下の選手から順に選出する

【スピード種目】

ランク	基準となる実績	選手への特典
S ランク	IFSC または JMSCA が主催・共催・公認するスピード種目の大会において、 <u>男子 5.39 秒以内、女子 7.29 秒以内</u> の記録を持つ選手	・第19回アジア競技大会(2022/杭州)へ最優先で派遣する ※6 ・IFSC クライミング世界選手権 2023 へ最優先で派遣する
A ランク	1) IFSC または JMSCA が主催・共催・公認するスピード種目の大会において、 <u>男子 5.59 秒以内、女子 7.59 秒以内</u> の記録を持つ選手 2) IFSC スピードワールドカップ 2023 で6位以内の成績を収めた選手	・第19回アジア競技大会(2022/杭州)及び IFSC クライミング世界選手権 2023 へSランクに次ぎ優先で1)2)の順に派遣する(参加枠を満たすまで)
B ランク	3) IFSC または JMSCA が主催・共催・公認するスピード種目の大会において、 <u>男子 5.79 秒以内、女子 7.89 秒以内</u> の記録を持つ選手 4) スピードジャパンカップ 2023 1位	・第19回アジア競技大会(2022/杭州)及び IFSC クライミング世界選手権 2023 へAランクに次ぎ優先で3)4)の順に派遣する(参加枠を満たすまで)

- ※6 第19回アジア競技大会(2022/杭州)の選手選考については2023年4月30日時点で最上位の記録の選手1名を選出する。
- ・記録については、IFSC または JMSCA が主催・共催・公認するスピード種目の大会を対象とする(2023年3月1日から7月10日までの期間)
 - ・同じランク同士の選手についてはより速い記録を持つ選手を優先し選出する

7. その他

- (1) IFSC ルールの変更及び大会要項の更新等があった場合には、選手選考基準も準じて改定をおこなう場合がある。
- (2) 現在大会要項が公表されていない大会については、公表後に選手選考基準を追記する場合がある。

〈参考資料〉

順位ポイント

順位	ポイント	順位	ポイント	順位	ポイント	順位	ポイント
1位	1000	21位	145	41位	14	61位	4
2位	805	22位	130	42位	13	62位	4
3位	690	23位	120	43位	12	63位	4
4位	610	24位	105	44位	11	64位	3
5位	545	25位	95	45位	11	65位	3
6位	495	26位	84	46位	10	66位	3
7位	455	27位	73	47位	9	67位	3
8位	415	28位	63	48位	9	68位	3
9位	380	29位	56	49位	8	69位	2
10位	350	30位	48	50位	8	70位	2
11位	325	31位	42	51位	7	71位	2
12位	300	32位	37	52位	7	72位	2
13位	280	33位	33	53位	7	73位	2
14位	260	34位	30	54位	6	74位	2
15位	240	35位	27	55位	6	75位	1
16位	220	36位	24	56位	6	76位	1
17位	205	37位	21	57位	5	77位	1
18位	185	38位	19	58位	5	78位	1
19位	170	39位	17	59位	5	79位	1
20位	155	40位	15	60位	4	80位	1